



Cisco Unified Customer Voice Portal

- [新機能, on page 1](#)
- [更新済み機能, on page 2](#)
- [特記事項, on page 2](#)
- [廃止された機能, on page 3](#)
- [削除され、サポートされない機能, on page 3](#)
- [サードパーティ ソフトウェアへの影響, on page 3](#)

新機能

プラットフォームの更新

このリリースでは、CVP は Microsoft Windows Server 2016 Standard および Datacenter Edition をデスクトップでサポートしています。詳細については、*Cisco Unified Customer Voice Portal* のインストールおよびアップグレードガイド、リリース 12.0 (1) を参照してください。

設定と管理

設定と管理

- **ORM と WSM プロセスのマージ:** ORM プロセスと WSM プロセスがマージされ、WSM プロセスで実行されるようになりました。

Call Studio のライセンス

このリリースでは、Call Studio のインストールにライセンスは必要ありません。

更新済み機能

機能拡張

セキュリティ

- **PG でのセキュア通信:** CVP は、GED 125 プロトコルの通信を暗号化する CVP と VRU PG 間のセキュアな暗号化通信をサポートするようになりました。
- **2048 ビット暗号化のサポート:** CVP では、2048 ビットの暗号化がサポートされています。
- **セキュリティの修正:** 強化されたセキュリティおよび脆弱性の修正のためにアップグレードされたさまざまなコンポーネント。

アップグレード

- **Java スクリプト エンジン:** VXML サーバで使用される Java スクリプト エンジンが、Rhino から Nashorn にアップグレードされました。
- **Java アップグレード:** CVP コンポーネントは、Java 1.7 から Java 1.8 を使用するようにアップグレードされています。
- **Tomcat アップグレード:** CVP コンポーネントは Tomcat 8 から Tomcat 9 を使用するようにアップグレードされています。

SIP サーバグループの拡張

コールマネージャからのエラー応答 503 は、コールマネージャが到達不能リストに入れられることがなくなりました。これを実現するために、到達不可能リストは最適化されています。

その他

- このリリースでは、SIP セッション タイマーのサポートが導入されています。
- このリリースでは、これらの統計のより正確なレポートを提供するために、さまざまな統計パラメータが修正されています。

特記事項

なし

廃止された機能

なし

削除され、サポートされない機能

- TLS 1.0 および TLS 1.1 は、このリリースではサポートされていません。ただし、下位互換性の破損を防ぐため、これらのバージョンはまだ完全には削除されていません。

サードパーティ ソフトウェアへの影響

なし

